

資料3－1

第4回モニタリング会合宿題事項等への対応

項目番	概要	内容	対応・回答
1	OBD検査／確認モードの誤認防止	<ul style="list-style-type: none"> OBD確認時にPDF出力される帳票について、使用者に対してのOBD検査結果のお知らせが「OBD検査結果のお知らせ」となっており、<u>OBD確認時にPDF出力したもの</u>を添付してOBD検査をしていると判断してしまう事案があった。 <u>指定に関してはOBD確認時ではなく、OBD検査をしないとPDF出力できないようにするなどの対応が必要ではないか。</u> 検査実施者の氏名も帳簿に記載してほしい。 (第1回モニタリング会合課題 項番17関係) <p style="text-align: right;">【指定】</p>	<ul style="list-style-type: none"> OBD検査結果参照システムで出力される「OBD検査結果のお知らせ」について、「OBD検査」か「OBD確認」かを識別できる記載を追加するよう、令和8年1月のシステム改修において対応予定です。(参考資料3のとおり) なお、検査実施者の氏名の記載については、当該お知らせは整備事業者が自動車ユーザーに対して提示することを想定したものではありますが、今後、多くの要望が寄せられた場合に対応を検討します。 【事務局】
2	電子保安基準適合証との連携	<ul style="list-style-type: none"> OBD検査対象車が、OBD検査未実施の状態でも、保安基準適合証の交付、車検証の更新ができてしまう。 <u>OBD検査未実施のまま、保安基準適合証の交付等ができるないように、システム側で対策をしていただきたい。</u> (第1回モニタリング会合課題 項番21関係) <p style="text-align: right;">【日整連／自工会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本自動車整備振興会連合会が提供する「保適証サービス(電子保安基準適合証システム)」との連携により対応します。 現在、詳細な仕様について、(一社)日本自動車整備振興会連合会と調整中です。(現時点案は資料3-2のとおり) 令和8年度中に連携できるよう準備を進めています。 【事務局／日整連】
3	複数拠点の結果と一括出力	<ul style="list-style-type: none"> <u>OBD検査結果参照システムで、拠点毎の実績をCSV形式で出力できるものの、複数の拠点を一括出力できない。</u> <u>複数の拠点を一括で出力できるようにしてほしい。</u> (第1回モニタリング会合課題 項番22関係) <p style="text-align: right;">【指定】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘のとおり出力できるよう、令和8年1月のシステム改修において対応予定です。(参考資料3のとおり) 【事務局】
4	車検証二次元コード読取モード2の大文字変換	<ul style="list-style-type: none"> OBD確認モードにおいて車両情報を入力する際、<u>Capslockの状態</u>で二次元コードリーダを使用したところ、車台番号のアルファベットが全て小文字で反映され、アプリ画面上部に「OBD確認できません」と表示が出た。 <p style="text-align: right;">【指定】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「OBD検査」又は「OBD確認」の車両受付時に<u>二次元コード読み取りを行う場合</u>について、<u>小文字が全て大文字に自動変換されるよう</u>、<u>令和8年1月のシステム改修において対応予定</u>です。(参考資料3のとおり) 【事務局】

項目番	概要	内容	対応・回答
5	OBD検査時等のポップアップ表示強調	<ul style="list-style-type: none"> ● 指定工場からの指摘にはエラーメッセージが「見えづらい」ということも含まれているかと思う。<u>文字を大きくするなど、アレンジの余地があるのではないか。</u> ● 濃い赤の背景に白抜き文字としたり文字を大きくしたりするなど、比較的簡単な改修で目線をそこに向けることができるのではないか。 ● エラー時の色を変えるという案も考えられるが、一番目立つのは点滅させることではないか。 <p style="text-align: right;">【自工会／日整連】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● エラーメッセージ等のポップアップ表示の改善について、次回以降の会合において、システム改修により対応可能な具体的な案を提示し、必要な改修について議論します。 【事務局】
6	特例措置のわかりやすい資料	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>(特例措置のわかりやすい資料の)掲載先については、国交省HPに加え、機構のOBD検査ポータルにも載せてはどうか。</u> ● 現在ポータルの方で特例措置の実施要領の全体版は掲載されているので、そこに補足するような形はどうか。 <p style="text-align: right;">【自工会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● OBD検査ポータル「障害発生時の対応について」において、国交省HPに掲載された「<u>特例措置の分かりやすい資料</u>」を案内するリンクを追記します。 (OBD検査ポータル「障害発生時の対応について」) https://www.obi.naltec.go.jp/troubleshooting/ 【事務局】
7	検査用スキャンツール認定取消時の対応策定	<ul style="list-style-type: none"> ● 検査用スキャンツールが認定を外れた場合について、DTC照会アプリの非認定メッセージ送出に3週間程度かかるとのことだが、<u>指定工場が気づかずに入検してしまった可能性もあるため、メール送信など、なるべくリアルタイムに近い形での周知を検討していただきたい。</u> ● 周知前に指定工場が<u>当該スキャンツールでOBD検査を実施した場合について、当該工場には非がないため行政処分の対象としないでほしい。</u> ● 新しい検査用スキャンツールがすぐに入手できないことも考えられるため、<u>一定期間、特例措置を設けることも検討してほしい。</u> <p>(第3回モニタリング会合における議論)</p> <p style="text-align: right;">【日整連】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 認定が取り消された検査用スキャンツールを使用する指定工場への特例措置について、特例措置の対象の考え方について整理したうえで、通達案を作成し、次回会合において議論します。 ● 当該スキャンツールを誤って使用した場合における行政処分等については、特例措置について整理した後、議論を進めます。 (議題(5)において議論) 【事務局】